旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２１年６月１３日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌497「輝く日を仰ぐ時」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	聖歌402「丘に立てる」	一　同
教会学校	紙芝居「家に帰ろう」	牧　師
讃　　美	聖歌294「静かに待て」	一　同
聖書朗読	エズラ1:1-4	
奨　　励	エズラ記の福音（第1回）	牧　師
主　　題	**「約束を果たす神様」**	
讃　　美	聖歌336「いかに恐るべき」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌378「栄あれや」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**エズラ記第２章**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
６/13(日)聖日礼拝
/14(月)
/15(火)
/16(水)8:30OBS ﾁｬﾍﾟﾙ
/17(木)10:00聖研
/18(金)
/19(土)13:子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちも救われますように

参考資料

「キュロスの円筒型碑文」
（「ウィキペディア」より）

（22.5x10cm、B.C.539-530 頃）

キュロス・シリンダー（**Cyrus　Cylinder**、キュロスの円筒型碑文）は、アケメネス朝ペルシアのキュロス大王の功績を称える文章が印刻された古代の遺物。現在、ロンドンの大英博物館に所蔵されている。1879年にホルムズド・ラッサムがバビロンのマルドゥク神殿を発掘したときに発見した断片で、35行からなるアッカド語の刻文が記されていた。これに続く36行目から45行目までをイェール大学が所蔵していることが後に明らかになった。

《内容》
刻文の内容は、まずバビロニア王（ナボニドゥス）がマルドゥク神に罪を得たことを述べ、怒ったマルドゥク神がアンシャン王であったキュロスに世界の王としての地位を与えたと記す。キュロスはマルドゥク神の命令によって諸国を征服し、バビロンに無血入城した(1-19行)。ついでキュロスの一人称による記述になり、キュロスはテイスペスの子孫たる自分の家系を記す。キュロスはバビロニアの民衆に安寧をもたらすものであること、マルドゥク神がキュロスとその軍隊を祝福していると述べる。各地の王が貢ぎ物を持ってキュロスを訪れてひざまずいた。キュロスは信仰を奪われた各国に対してその神々の像を返し、ナボニドゥスがバビロンに連れ去った各地の住民を元の国に返した。キュロスは諸国の人々がキュロスとカンビュセスのために祈るように命じた。最後に、自分が多くの生贄をささげ、またバビロンを囲む城壁を築いていることを述べている。バビロンの町の建設中にアッシュールバニパルの碑文を発見したことが記されている。

《聖書との関係》
キュロス・シリンダーの文章は、それだけを読めばキュロス2世によるプロパガンダの文章であるが、旧約聖書の歴代誌下36章、エズラ記の1章および6章、イザヤ書44章に見える、キュロスがバビロン捕囚でバビロンに移住させられた人々を解放し、神殿の再建を許した記事を裏付けるものとして注目された。